

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 1 良好な生産基盤の確保と農地の有効活用（農地）

施策 1 優良農地の集積の推進

取組項目 1 農地利用集積の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1・1・1	農地利用集積の推進	1 目標を達成	指標(単位)	農地中間管理機構に貸付けた農地の面積（累計）（ ha ）								・農地中間管理機構（公益社団法人埼玉県農林公社）を通じた地域の担い手への農地の集積及び集約化がさらに加速するよう取り組んでいく。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				1,925	2,023	2,121	2,218	2,315	2,800		
	実績		1,729	1,911	2,185	2,218	2,362	2,474				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新規に1地区で集積が完了するとともに、既存の40地区の協議会において再配分を実施し、農地の利用集積・集約を進めることにより、担い手農家への集積・集約化を図ることができたため、目標値を上回ることができた。 (指標の算式) 目標年における目標面積を基準として按分した面積（R元年度末時点の農振農用地区域内面積の5割：2,800ha）											
	農地利用集積推進事業	1 目標を達成	指標(単位)	農地中間管理事業で集積された面積の割合（ % ）								・農地中間管理機構（公益社団法人埼玉県農林公社）を通じた地域の担い手への農地の集積及び集約化がさらに加速するよう取り組んでいく。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				26.5	27.8	29.2	30.5	31.8	38.5		
	実績		23.8	26.3	30.0	30.5	32.4	34.0				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・既存の協議会において再配分を実施し、農地の利用集積・集約を進めることにより、農地中間管理機構に貸付けた農地面積の増加を図ることができたため、目標値を上回ることができた。 (指標の算式) 農地中間管理事業で集積された面積ha/農業振興地域の面積（R元年度末時点の面積7,272ha）											

施策 2 農業生産基盤の整備

取組項目 1 ほ場の大規模化に向けた支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1・2・1	ほ場の大規模化に向けた支援	1 目標を達成	指標(単位)	農振農用地区域内の田のほ場整備率（30a以上）（％）								・農地中間管理事業実施地区において、ほ場整備を希望する地区が多数ある中で、事業推進方法と市の財政状況とのバランスを考えながら推進する。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				50	51	51	52	53	55		
	実績		51	53.9	55.7	56.1	59.1	59.7				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・農地の畦畔除去等に係る助成（市単）により、農振農用地区域内の農地について、30a以上のほ場整備を約23ha実施したことにより目標値を上回ることができた。なお、ほ場整備事業については、麦倉中地区及び麦倉東地区の区画拡大工事が開始され、令和8年度の竣工に向けて計画通り進行している。											
	ほ場等整備推進事業											

取組項目 2 農業水利施設の老朽化に対する保全・整備

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
1・2・2	農業水利施設の老朽化に対する保全・整備 多面的機能支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	多面的機能支払交付金補助対象面積 (ha)							・中間管理事業等や土地改良事業等が行われた地域に重点的に制度の周知を行い、新たな活動組織が発足できるよう支援をする。 ・現活動組織に対し、活動面積の増加なども視野に指導・支援を行う。	
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)		令和12年度 (目標年)
			目標			600	600	600	620	620		660
			実績	472	589	589	643	740	792			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・事業に取り組む40団体（加須地域7団体、騎西地域13団体、北川辺地域18団体、大利根地域2団体）に対して適切な指導・支援を行い、事業実施をサポートした。1団体の新規組織設立があり、事業に取り組む対象面積の増加を図ることができたため、目標値を上回ることができた。									

施策 3 農地の維持・保全

取組項目 1 農地の維持・管理

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
1・3・1	農地の維持・管理 農業委員会 運営事業	1 目標を達成	指標(単位)	権利移動により担い手等に集積された面積 (ha)								・地域の農業委員・農地 利用最適化推進委員及び 事務局等関係者と情報情 報共有することで、速や かに担い手等への農地の あっせんを図る必要があ る。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			20	20	20	20	20	20	
			実績	16	19	18	28	36	24			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・定例総会（1回/毎月）において、農地法第3条（権利移動）100件、第4条（自己転用）31 件、第5条（転用）162件を審査（R6.4.1～R7.3.31） 法令等に基づき遊休農地、違反転用、適正な農地改良の指導。市内の認定農業者や農地所有 適格化法人への集積が行われた。									

取組項目 2 耕作放棄地の解消

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
1・3・2	耕作放棄地の 解消 耕作放棄地 解消事業	1 目標を達成	指標(単位)	耕作放棄地解消面積（累計）（ ha ）								・農業従事者の高齢化、 後継者不足、相続による 地主不在の影響等で作付 けされない農地が遊休化 している。このような農 地を可能な限り再生、有 効利用を図るため、担い 手農家等への集積（誘 導）が必要である。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			3	6	9	12	15	30	
			実績	4.3	5.3	9.4	13.4	20.4	29.4			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和7年3月末市内耕作放棄地面積90.9ha ・農家の高齢化等により担い手不足が深刻な状況であり、耕作放棄地を解消し、耕作していく 担い手農家を見つけることが難しくなっている。農地法に基づく農地利用状況調査・利用 意向調査を行い耕作放棄地（遊休農地）対策を進めるため地域推進会議を開催し、担い手の確 保などを検討した。									

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 2 「稼ぐ」農業の確立（農業経営）

施策 1 収益性の確保・向上

取組項目 1 高収益化に向けた支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・1・1	高収益化に向けた支援	4 大幅に遅れている	指標(単位)	中川上流地区営農関係会議の開催回数 (回)								・事業方針に沿った高収益作物の営農計画の具体化などについて検討するとともに、同意徴収や地元説明の方法などについて検討する。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				3	3	3	3	3	3		
	実績		2	3	5	5	3	1				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・中川上流地区国営事業等推進協議会総会（R7.2.3）、幹事会（R6.11.15）、担当者会議（2回：R6.10.23、R7.3.26）を開催し、国営事業で整備する排水路等について検討した。営農部会を開催しなかったが、1回の会議で営農関係事項の話し合いを行った。国営事業適用事業種の変更により停滞していた事業が大きく進展したが、実績が目標値の33%となった。											
	中川上流地区高収益作物導入推進事業											

取組項目 2 新たな展開への支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
2・1・2	新たな展開 への支援 産業チャレン ジ支援事業	4 大幅に遅 れている	指標(単位)	6次産業化商品開発支援件数 (件)							・引き続き、助成制度の 活用を促進するため、周 知を図る。	
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)		令和12年度 (目標年)
			目標			5	5	5	5	5		5
			実績	2	2	0	0	2	1			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内産業の活性化を図るため、市内の農業者が、農作物を活用した商品の研究開発・量産化 費用の助成について、市ホームページで周知を行ったが、支援件数が1件であったため本評価 とした。									

施策 2 農産物の高付加価値化

取組項目 1 かぞブランドの育成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・2・1	かぞブランドの育成 農産物ブランド育成事業	1 目標を達成	指標(単位)	かぞブランド認定農産物 (品)								・市の農産物において、優れた製品があるが、消費者等へその魅力を伝えられていないのが現状である。「かぞブランド認定制度」の活用を図り、関係団体や生産者等と連携し、農作物のブランド化を推進していく。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			22	22	22	24	24	28	
			実績	20	21	23	23	22	24			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内の優れた農産物等を活用し、市のイメージの向上と地域経済の活性化を目指すため、市ホームページ等で認定品を紹介するほか、ふるさと納税返礼品とするなど周知に取り組んだ。また、麦、そば、いちじくの産地化に向けて支援を行うなど、ブランド化に向けた支援を行った。 かぞブランド認定制度において、新規認定が2件（水野農園の朝摘み完熟いちご（あまりん）北川辺いちご部のいちご（べにたま・あまりん））あったため、目標を達成することができた。									

取組項目 2 付加価値となる認証制度の活用に向けた支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・2・2	付加価値となる認証制度の活用に向けた支援 エコ農業推進事業	1 目標を達成	指標(単位)	環境保全型農業交付金取組面積 (a)								・環境保全型農業推進事業の更なる周知を行い、化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援していく
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			1,025	1,030	1,035	1,040	1,045	1,070	
			実績	1,014	1,278	1,253	2,740	2,039	3,599			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須市環境保全型農業推進協議会（取組経営体 10経営体）への減農薬等の取組に対する補助金、環境保全型農業推進団体（1団体）への環境負荷の少ない防除対策の取組に対する補助金、各地域廃プラスチック協議会（4団体）への廃プラスチック処理費用に対する補助金の交付を行った。地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を取り組む農業者が組織する団体に対して支援を行い、環境保全機能を発揮させた。環境保全型農業交付金制度を促進することにより、取組面積が増加し目標値を上回ることができた。									

取組項目 3 関連企業との連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・2・3	関連企業との連携 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	関連企業との相談件数（累計）（件）								・新規に企業が参入する適地を検討しつつ、県や関係団体と連携し、企業参入を推進する。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			1	2	3	4	5	10	
			実績	1	2	3	4	5	5			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新規の相談は無かったが、以前より相談を受けている企業に対して、法人の設立に関する助言や営農適地の提案を行うことができた。相談実績内訳：令和元年度 1件、令和2年度 1件、令和3年度 1件、令和4年度 1件、令和5年度 1件、令和6年度 0件									

施策 3 農業経営の安定化

取組項目 1 稲作経営への支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・3・1	稲作経営への支援 経営安定・自給力向上事業	1 目標を達成	指標(単位)	米の作付面積 (ha)								・米の適正価格の維持及び需要に応じた米の生産のため、経営所得安定対策による飼料用米や米粉用米等の作付け促進とともに、引き続き生産コスト低減への支援や米の消費喚起、売れる米のためのPR等を図る。 ・米価が上昇しているが引き続き、稲作農家への支援について検討する。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	
			実績	4,650	4,650	4,340	4,180	4,230	4,560			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・国、県が作成した経営所得安定対策に関する制度案内を農業者に配布し、飼料用米や米粉用米等の作付け促進を行った。また、生産コストの低減に取り組む農業者を支援する国の交付金制度を活用し、実需者ニーズに対応する米づくりの推進を図るとともに、売れる米づくりに向けて加須産米のPRを行った。 令和6年度は主食用米の販売価格が上昇したこともあり作付面積が増加したため、目標値を上回ることができた。 (指標の算式) 農林水産省のWebサイト（市町村の姿 グラフと統計でみる農林水産業）より算出									
	2 概ね達成	指標(単位)	米の収穫量 (t)								・同上	
		年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
		目標			22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500		
		実績	23,200	23,900	23,000	21,500	20,900	22,100				
		【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・国、県が作成した経営所得安定対策に関する制度案内を農業者に配布し、飼料用米や米粉用米等の作付け促進を行った。また、生産コストの低減に取り組む農業者を支援する国の交付金制度を活用し、実需者ニーズに対応する米づくりの推進を図るとともに、売れる米づくりに向けて加須産米のPRを行った。令和6年度は高温障害やイネカメムシ被害の影響があったが、作付面積が増えたこともあり収穫量も増え、実績が目標値の98%を達成した。 (指標の算式) 農林水産省のWebサイト（市町村の姿 グラフと統計でみる農林水産業）より算出										

取組項目 2 農業経営の安定化に向けた支援

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
2・3・2	農業経営の安定化に向けた支援 経営安定・自給力向上事業	3 やや遅れている	指標(単位)	経営所得安定対策の国の助成対象人数 (人)								・引き続き各地域水田協 会を通して、農業者へ情報 提供を行い、農業経営の 安定を図る。 ・収入保険制度の周知支 援(市HP、広報誌等)
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			382	384	386	388	390	400	
			実績	378	311	421	465	407	251			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・国、県が作成した経営所得安定対策に関する制度案内を農業者に配布し、制度の理解を深めるとともに、再生協議会(各地域水田協議会)を通じ、経営所得安定対策制度の加入手続きを行い、制度に位置付けられた各種交付金等を交付した。 令和6年度は、主食用米の販売価格が上昇したこともあり経営安定のために助成を受ける農業者(水田活用直接支払い交付金236件、産地交付金133件、畑作物の直接支払い交付金52件)が令和5年度よりも減少し、実績が目標値の65%となった。									

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 3 多様な担い手の育成（担い手）

施策 1 株式会社農業公社への支援

取組項目 1 株式会社農業公社への支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・1・1	株式会社農業公社への支援 農業公社支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	農業公社への農地利用集積面積 (ha)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			60	60	60	60	60	60
			実績	49.5	53.5	53.8	54.1	56.5	60.1		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・法人化から第11期目を終え、事業実施状況は、春作業9.42ha、秋作業21.84ha、維持管理作業経営面積58.24ha、経営面積 水稻29.19ha、小麦 17.01ha、そば・大豆等18.13haであった。小麦及び大豆等の面積が各期ごとに順調に拡大し収益も順調な伸びで終期を迎えた。農地利用集積面積が前年度より3.6ha増加し、目標値を上回ることができた。								・今後も引き続き、安定的な経営とともに、地域農業におけるセーフティネットの役割を果たすため、必要に応じて必要な支援を行う。 ・維持管理作業の計画的執行

施策 2 地域農業を牽引する人材・経営体への重点的支援

取組項目 1 意欲的に経営を行う農業者を支援する制度の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・2・1	意欲的に経営を行う農業者を支援する制度の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	認定農業者数（4月1日現在） (人)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			273	276	279	282	285	300
			実績	270	276	283	287	293	299		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・担い手に対し、制度資金の利子補給・利子助成の実施（農業近代化資金借入に対する利子補給実績：上期46件、下期49件）や国の助成制度による生産効率化の取組等を行う際に必要となる農業用機械・施設等導入費用の一部助成の手続きを行い、2経営体が採択されるなどに取り組んだ。 ・高齢により再認定を受けない方が増えているが、制度資金の利子補給・利子助成や国等の助成制度を周知等により新規認定者を確保することができたため、目標値を上回ることができた。								・引き続き、認定農業者に対して、各種助成制度の活用を促進し、育成、確保を図っていく。

取組項目 2 農業経営の法人化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3・2・2	農業経営の法人化の促進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	認定農業者のうち法人・集落営農数（4月1日現在） (団体)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			29	29	30	30	30	31
			実績	28	28	31	34	39	40		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・制度資金の利子補給・利子助成の実施（農業近代化資金借入に対する法人の利子補給実績：上期14件、下期18件）や国等の助成制度の周知等を行った。市が認定した法人のほか、広域認定（国認定及び埼玉県認定）を受けた法人が6経営体のうち法人が2経営体あり、目標値を上回ることができた。								・引き続き、認定農業者に対して、各種助成制度の活用を促進し、育成、確保を図っていく。

施策 3 新たな人材の確保・定着

取組項目 1 新規就農者・農業後継者の確保

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3・3・1	新規就農者・農業後継者の確保	1 目標を達成	指標(単位)	新規就農認定者数（4月1日現在）（人）							・引き続き、新規就農者の認定に向けた周知や説明を行い、新規就農者の増加を図る。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
	目標				10	10	10	10	10	10	
	実績		10	10	12	13	16	15			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・埼玉県農業大学校と連携し、6月に大学校で就農希望学生との情報交換及び個別相談を行うとともに、市役所窓口等で年間20件の就農相談を受け個別に対応を行った。また、農業志向者に対し国や市の支援制度を通じて農業用機械・施設の導入費用等の支援を行った結果、新たに3件の青年等就農計画の認定に至り、目標値を上回ることができた。										

取組項目 2 新規就農者・農業後継者の育成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3・3・2	新規就農者・農業後継者の育成	3 やや遅れている	指標(単位)	加須の農業担い手塾延べ受講者数（累計）（人）								・農業に興味、関心が高い市民を対象に農業担い手塾を開講し新規就農者の確保を図る。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				105	120	135	150	165	240		
	実績		60	0	70	81	91	101				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須の農業担い手塾（全15回）を開講し、10名の塾生に基礎知識と基本技術の講義・実習を行った。受講者が農業に関心が高く、積極的に担い手塾の講義・実習に参加していただいた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止、令和3～5年度は募集人数を10人程度としたため、実績が目標値の67%となった。											

取組項目 3 新規就農者等への包括的支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3 ・ 3 ・ 3	新規就農者等への包括的支援	1 目標を達成	指標(単位)	新規就農支援者数 (人)							・引き続き、助成事業等の新規就農者育成関連事業を実施することで、新規就農者のサポート及び経営安定の支援をする。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
	目標				4	4	4	4	5	5	
	実績		4	2	9	7	8	5			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市の支援制度である助成事業では認定新規就農者4人の活用があり支援を行ったほか、国の支援制度である営農開始資金※農業次世代人材投資資金（令和4年度に名称変更）では前年度からの継続者1人の活用があり支援を行った。これらの取組により目標値を上回ることができた。										

施策 4 スマート農業の推進

取組項目 1 スマート農業の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3・4・1	スマート農業の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	指標(単位)	スマート農業に取り組むモデル経営体の育成件数 (件)								・労働力不足改善のための省人化、農作業の省力化及び効率化、コスト削減に向けたスマート農業の導入を促進する。 ・ロボットトラクターや自動操舵等を導入し、スマート農業に取り組む経営体の支援を行う。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			1	1	1	2	2	5	
			実績	0	0	1	2	2	2			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・北埼玉スマート農業研究会が実施する研修会を通じて農家への情報提供等を行い、スマート農業の普及を推進した。 埼玉県スマート農業普及推進事業モデル経営体として、㈱おおや農園（北川辺地域）がドローンを活用したセンシングと追肥による収量・品質の改善効果の検証する取組を行った。また、㈱はぎはら農園（北川辺地域）がロボットトラクターの自動運転による代かき作業と直進アシスト田植機の同時稼働による作業時間の短縮効果の実証実験を実施した。以上の取組により、目標を達成することができた。									

施策 5 多様な主体が農業を支える環境づくり

取組項目 1 企業の農業参入の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3・5・1	企業の農業 参入の推進	1 目標を達成	指標(単位)	企業参入の相談件数（累計）（件）								・新規に企業が参入する 適地を検討しつつ、県や 関係団体と連携し、企業 参入を推進する。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				1	2	3	4	5	10		
	実績		1	2	3	4	5	5				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新規の相談は無かったが、以前より相談を受けている企業に対して、法人の設立に関する助 言や営農適地の提案を行うことができた。 相談実績内訳：令和元年度 1件、令和2年度 1 件、令和3年度 1件、令和4年度 1件、令和5年度 1件、令和6年度 0件											

取組項目 2 多様な農業人材の発掘

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
3・5・2	多様な農業人材の発掘 新規就農者育成事業	1 目標を達成	指標(単位)	「加須の農業担い手塾」卒業生の就農者数（累計）（人）								・引き続き、「加須の農業担い手塾」を実施し、地域農業の新たな担い手の育成を図る。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			12	14	16	18	20	30	
			実績	11	11	12	14	17	21			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須農業担い手塾（第9期）の卒塾10名のうち4名の方が新たに就農することとなり、目標値を上回ることができた。なお、卒塾生の中には、農業技術向上のために受講した方もいる。									

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 4 市民や他産業と協働する「かぞ農業」の実現（地産地消等）

施策 1 地産地消の推進

取組項目 1 直売施設の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・1・1	直売施設の 充実	1 目標を達成	指標(単位)	農産物直売所の地元農産物売上額 (百万円)								・市内商工業者、消費者 団体等と連携しての地産 地消の推進方法を検討す る。 ・販路拡大のために市イ ベント等への出店を支援 する。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				315	316	317	318	319	324		
	実績		314	313	321	314	309	343				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・収益性の高い農業の育成を図るため、直売所の生産者組織に対して定額の支援を行った。道の 駅かぞわたらせ農産物直売所における地元農産物の売上額は令和5年度を下回ったが、それ 以外の直売所5カ所（JAほくさい加須農産物直売所、JAほくさい騎西農産物直売所、JAほくさ い北川辺農産物直売所、童謡のふる里おおとね農業創生センター、加須未来館農産物直売所） の売り上げは前年より増加し目標値を上回ることができた。											
	地産地消推 進事業											

取組項目 2 市内での地場農産物の活用促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・1・2	市内での地 場農産物の 活用促進 地産地消推 進事業	2 概ね 達成	指標(単位)	学校給食に提供した地元農産物の割合 (%)								・引き続き、学校給食セ ンター等と連携を図り、 出荷可能な農産物や仕入 先（生産者等）の情報共 有により、地場産野菜の 使用量の拡大を目指す。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			17	18	18	19	19	22	
			実績	17	18.3	20	21.1	15.8	15.8			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・昨年に続き高温障害の影響もあり、令和5年度と同様の実績だった。学校給食センター等と調整を行い、出荷可能な農産物等の情報共有を行った結果、生産者や販売組織から学校給食における地産地消の取組への協力を得られたため、実績が目標値の83%を達成した。									

施策 2 農業とのふれあい創出

取組項目 1 市民農園の適切な運営

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・2・1	市民農園の 適切な運営	2 概ね 達成	指標(単位)	市民農園利用区画数 (区画)							・市民農園の利用区画数の検討 ・グリーンファーム加須での各種講座等の市民への周知
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
	目標				340	343	346	349	352	355	
	実績		337	339	343	344	348	339			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須地域及び北川辺地域の市民農園を適正に管理するとともに、グリーンファーム加須における各種講座等の開催や広報紙等を通じて市民農園利用の周知を行った。市民農園として利用可能な355区画（加須地域:233区画・北川辺地域:122区画）のうち、339区画（加須地域:225区画・北川辺地域:114区画）が利用されたため、実績が目標値の97%を達成した。										

取組項目 2 農業体験機会の提供

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・2・2	農業体験機 会の提供	3 やや遅 れている	指標(単位)	農業体験講座等参加者数 (人)							・引き続き、各種講座の 市民への周知を実施す る。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
	目標				650	660	660	670	670	700	
	実績		664	0	0	359	429	371			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ふれあい料理講座は概ね計画どおりの参加者数であったが、農業体験講座については参加者 が集まらず中止となった講座があったほか、天候不順による中止や1家族当たりの参加者数が 少数だった。また、ふれあい工芸講座は参加者数が計画を大きく下回ったため結果として、実 績が目標値の55%となった。										

施策 3 農業・農地の多面的機能の推進と理解促進

取組項目 1 地域活動団体への支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・3・1	地域活動団体への支援	1 目標を達成	指標(単位)	多面的機能支払交付金活動組織数 (団体)							・中間管理事業等や土地改良事業等が行われた地域に重点的に制度の周知を行い、新たな活動組織が発足できるよう支援をする。 ・現活動組織に対し、活動面積の増加なども視野に指導・支援を行う。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
	目標				37	37	37	38	38	40	
	実績		32	36	36	37	39	40			
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 事業の継続的な周知を行ったことにより1団体の新規組織が設立され、事業に取り組む対象面積が約52ha増加し、農地の多面的機能の向上を図る活動組織数については目標値を上回ることができた。なお、活動組織に対して適切な指導・支援を行うことにより、円滑に事業を進められるようサポートをした。										

取組項目 2 市民理解の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4・3・2	市民理解の 促進	3 やや遅 れてい る	指標(単位)	パブリシティでの掲載回数 (回)								・市のホームページ等の 充実やパブリシティへの 情報提供を強化すること で、さらに市内外への加 須市産農産物のPRを図 る。 ・販路拡大や加須市産農 産物のPRのため、青空 市場や物産展への出展を 支援する。 ・事業所支援サイト「は なまるかぞ」の活用を促 進を図る。
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				16	16	16	16	17	17		
	実績		14	5	4	7	11	8				
	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・パブリシティを19回実施し、報道機関に8回掲載されたことにより市内農産物やイベント等 について一定のPRを行うことができたが、目標値の50%となった。											
		3 やや遅 れてい る	指標(単位)	パブリシティへの情報提供回数 (回)								同上
	年度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)		
	目標				24	24	24	24	25	25		
	実績		22	15	19	20	21	19				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・パブリシティを実施し市内農産物等を市内外にPRしたが、情報提供数が目標値の79%と なった。ただし、パブリシティのほか、青空市場の実施や各地域で開催される農業まつり等の 運営に対する支援、市本庁舎玄関ホールに加須市の主要農産物ポスターや養殖魚を展示し、本 市農産物等のPRを行った。												

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 4 市民や他産業と協働する「かぞ農業」の実現

施策 4 他産業との連携強化

取組項目 1 商工業との連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
4・4・1	商工業との 連携 産業連携推進事業	1 目標を 達成	指標(単位)	年間企業訪問件数 (件)							・引き続き、企業訪問や 各種セミナーへの参加を 通じて、産業振興に向け た課題について研究を行 う。	
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)		令和12年度 (目標年)
			目標			50	50	50	50	50		50
			実績	49	7	37	36	41	50			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 以前よりも積極的な企業訪問に努めたことで、目標を達成した。									

取組項目 2 教育分野との連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析								分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
4 ・ 4 ・ 2	教育分野との 連携 かぞグルメ 協働事業	1 目標を達成	指標(単位)	学校と協働して実施した事業数 (事業)								・引き続き、花咲徳栄高等 学校食育実践科との協 働事業として、産学官連 携による加須産農産物を 活用した食に関する事業 の実施を検討する。
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	
			目標			4	4	4	4	4	4	
			実績	4	0	1	3	4	4			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和5年度に花咲徳栄高等学校、人間総合科学大学、株式会社丸武との産学官連携により商品開発をした「まご弁」を、令和6年12月17日に、市役所1階ロビーにて、花咲徳栄高等学校食育実践科も協働して一般販売を実施した。令和6年7月8日花咲徳栄高等学校食育実践科へ加須産いちごスイーツメニュー提供店の店頭ステッカーのデザイン案を依頼、令和6年10月15日に案を決定した。花咲徳栄高等学校食育実践科の農業体験として、令和6年5月30日にトマトの収穫体験、令和7年1月16日にきゅうりの収穫体験を実施した。4事業実施したことから目標達成とした。									